

問一

次の例のように、主語に 線、述語に 線を引きましょう。(答えは二つとも正解して一つ〇です。)

(例) 兄が ボールを 投げました。

① 私は 中華料理を 作ります。

② お寺の 鐘が 鳴りました。

③ 楽しそうな 笑い声が 教室まで 聞こえます。

④ 優勝の 知らせを 聞いて 人々は 喜びました。

主語は「何が・だれが」の部分にあたる言葉、述語は「どうする・どんなだ・ある・いる・ない」の部分にあたる言葉だったね。



問二

次の文の 線部は、他を詳しく表す言葉(修飾語)です。例文のように、線部がかかる言葉(被修飾語)を 線部より選び、記号で書きましよう。

(例) はなこさんは、小説を ア読んで イ感動しました。

① めいさんは、落とし物を 近くの ア交番へ イ届けに ウ行きました。

② さくらさんは、大声で ア泣いて、イ姉を ウ困らせました。

③ たかしさんは、飼いの犬の 頭を ア優しく イなでました。

④ かずやさんは、背の高い アメガネを イかけた ウ男性です。

線部の修飾語を他の言葉につなげてみよう。自然につながるところが答え(被修飾語)だよ。



- ウ イ ア ア ア

問三

次の文は、述語の表現が間違っています。正しい文になるように 線の言葉を直して 〇の中に書きましよう。

① 昨日 兄は カレーライスを 食べます。

② 私の 将来の 夢は 学校の 先生に なります。

食べました

※「食べた」でも〇

なることです

※「なることだ」でも〇